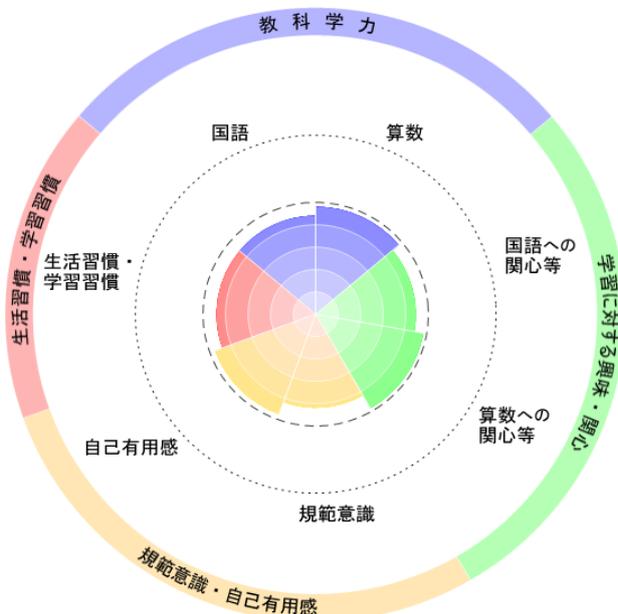
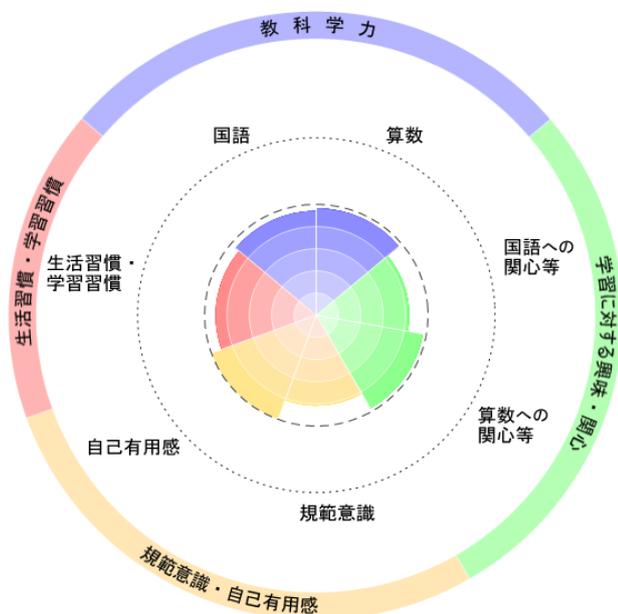


令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

令和3年度の全国の小学校6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。

児童質問紙 (神奈川県基準)

児童質問紙 (全国基準)



		山下小学校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
国語	平均正答率 %	60	63	64.7
	本校との違い		-3	-4.7
算数	平均正答率 %	68	70	70.2
	本校との違い		-2	-2.2

<児童の生活意識調査>

- 将来の夢や目標をもっていると答えた児童が多いです。学校生活の中でも、引き続き、夢や目標をもち、その実現に向かって個人や集団で取り組めるように指導していきます。
- 読書を好きと答えた児童が多いです。落ち着いて自分の時間を過ごしたり、調べ学習に本を活用したりするなど、引き続き読書習慣が身に付くように指導していきます。
- 算数と比べて国語についての興味・関心がやや低くなっています。単元を通して取り組む言語活動を意識させながら、児童の「わかる・できる」を大切に授業の工夫・改善をしていきます。
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える児童が多いです。児童が必要感をもって、主体的に課題解決にあたることのできる授業作りを引き続きしていきます。

<学習状況>

国語：学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題の正答率が比較的高くなっています。一方で、文章全体の構成を捉えたり、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けたりする問題では、誤答や無答が多いです。

算数：場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をする問題の正答率は高くなっています。一方で、グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴を読み取る問題を苦手としている児童が多く見られました。

国語においては、言語活動の充実を教科横断的に取り組み、基礎基本の定着を図ります。算数においては、既習事項を使った課題解決学習を積み上げていけるように、系統的な指導を行います。そして、学習した内容を基に、生活の中で活用できる力を育てていきます。